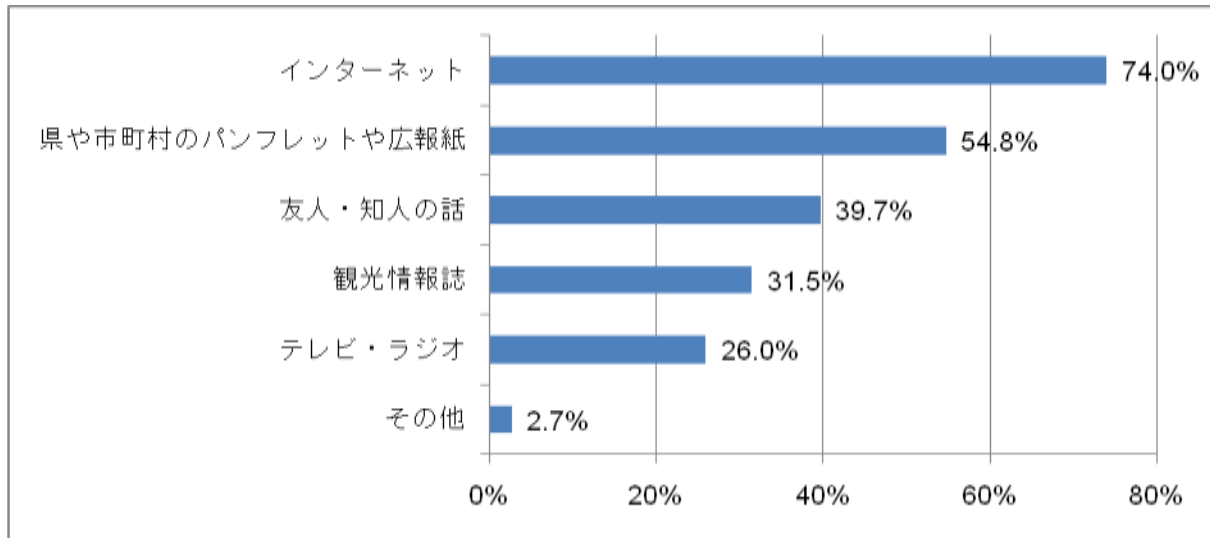


かんこう  
**<観光について>**

Q1 **さいたまけん かんこうじょうほう** をどのように手に入れているか（**ぜんいん かいとう**全員が回答、いくつでも）。

いんたあねっと りょう ひと いちばんおお  
**インターネットを利用する人が一番多い。**



かいとうしゃすう  
**回答者数：73**

せんたくし 選択肢	かいとうすう 回答数
いんたあねっと インターネット	54
けん しちようそん ほんふれつと ころほうし 県や市町村のパンフレットや広報紙	40
ゆうじん ちじん はなし 友人・知人の話	29
かんこうじょうほうし 観光情報誌	23
てれび らじお テレビ・ラジオ	19
た その他	2

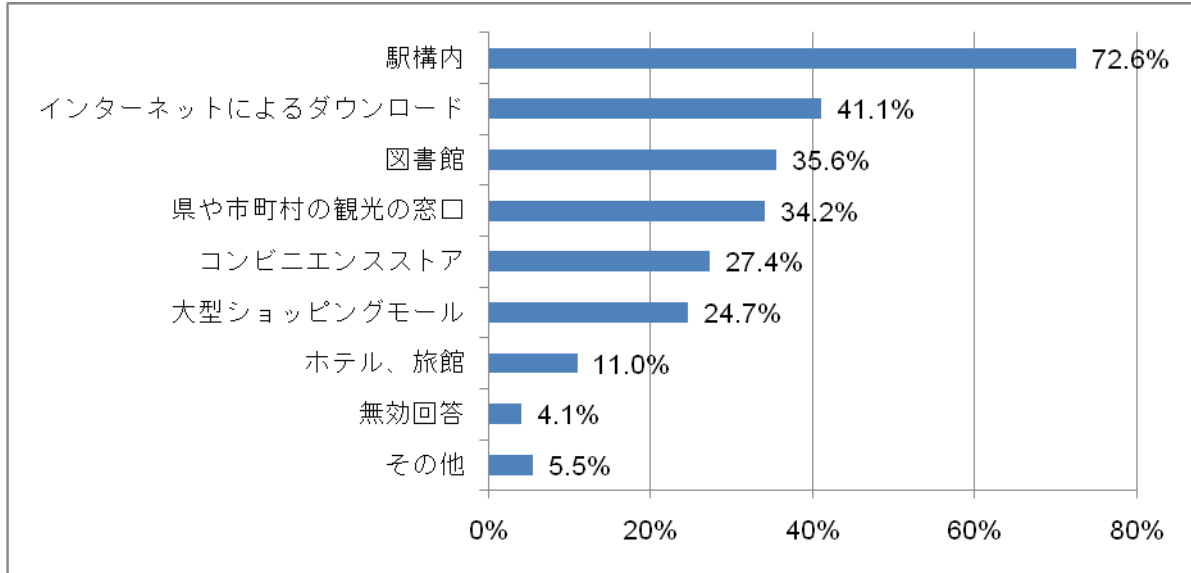
「いんたあねっと かんこうじょうほう にゆうしゆ ひと 74.0%と最も多い。次いで  
 「けん しちようそん ほんふれつと ころほうし 54.8%、「ゆうじん ちじん はなし 39.7%、「かんこう  
 じょうほうし 31.5%、「てれび らじお 26.0%となっている。

た かいとう  
**<その他の回答>**

- ・ **だいくとめえる**  
ダイレクトメール
- ・ **しんぶん でんしゃ しやない えき ぽすたあ**  
新聞、電車の車内、駅のポスター
- ・ **みち えき**  
道の駅

Q2 県や市町村の観光パンフレットをどこで配布したらよいか（全員が回答、3つまで）

「駅構内」という回答が一番多い。



回答者数：73

選択肢	回答数
駅構内	53
インターネットによるダウンロード	30
図書館	26
県や市町村の観光の窓口	25
コンビニエンスストア	20
大型ショッピングモール	18
ホテル、旅館	8
無効回答	3
その他	4

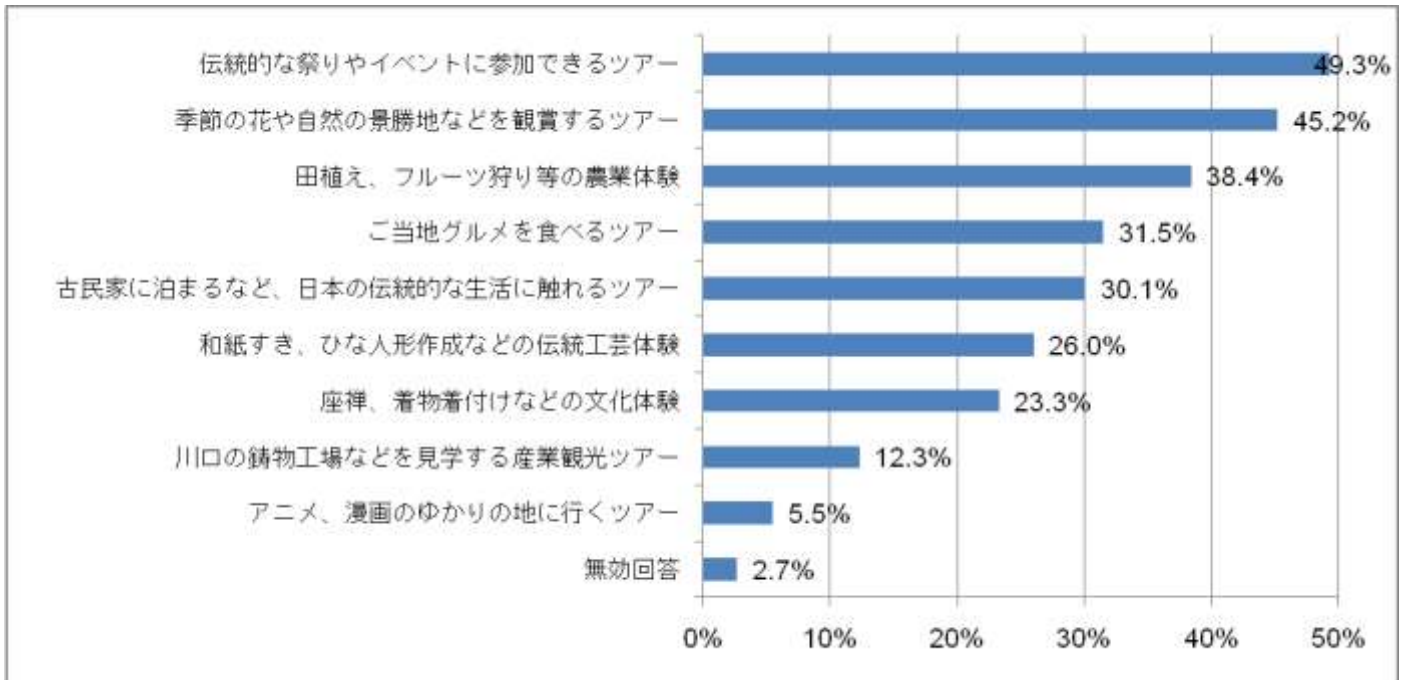
「駅構内」という回答が72.6%と最も多く、次いで「インターネットによるダウンロード」、「図書館」、「県や市町村の観光の窓口」となった。

＜その他の回答＞

- ・子育て支援センターや子育てサークルを行う施設
- ・高速道路のサービスエリア
- ・ブラジル人の無料雑誌に載せる
- ・外国人がよく行くお店に外国語のポスターを掲示する。

Q3 どのような内容の埼玉県内ツアーに参加してみたいか（全員が回答、3つだけ）。

「伝統的な祭りやイベントに参加できるツアー」という回答が多い。



回答者数：73

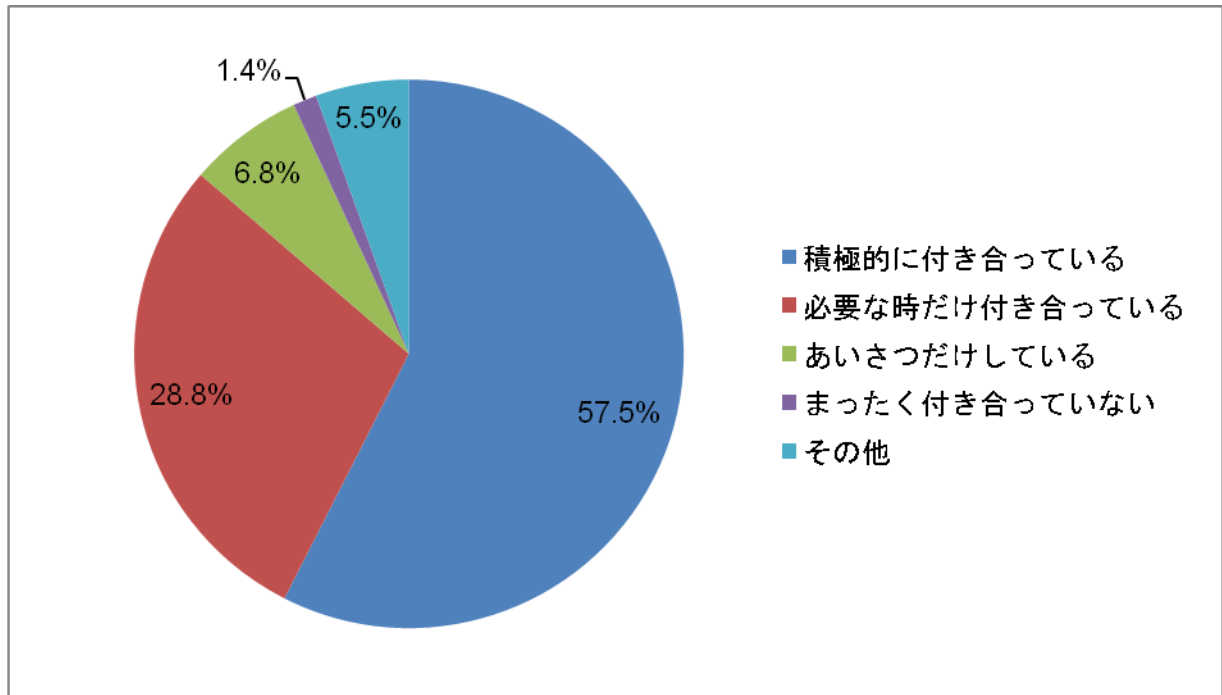
選択肢	回答数
伝統的な祭りやイベントに参加できるツアー	36
季節の花や自然の景勝地などを観賞するツアー	33
田植え、フルーツ狩り等の農業体験	28
ご当地グルメを食べるツアー	23
古民家に泊まるなど、日本の伝統的な生活に触れるツアー	22
和紙すき、ひな人形作成などの伝統工芸体験	19
座禅、着物着付けなどの文化体験	17
川口の鋳物工場などを見学する産業観光ツアー	9
アニメ、漫画のゆかりの地に行くツアー	4
無効回答	2

「伝統的な祭りやイベントに参加できるツアー」と回答した人が一番多かった。次いで、「季節の花や自然の景勝地などを観賞するツアー」、「田植え、フルーツ狩り等の農業体験」という回答になった。

多文化共生（1）外国人の地域の活動について

Q4 あなたは日本人とどのくらい付き合っているか。（全員が回答、1つだけ）

「積極的に付き合っている」という回答が一番多かった。



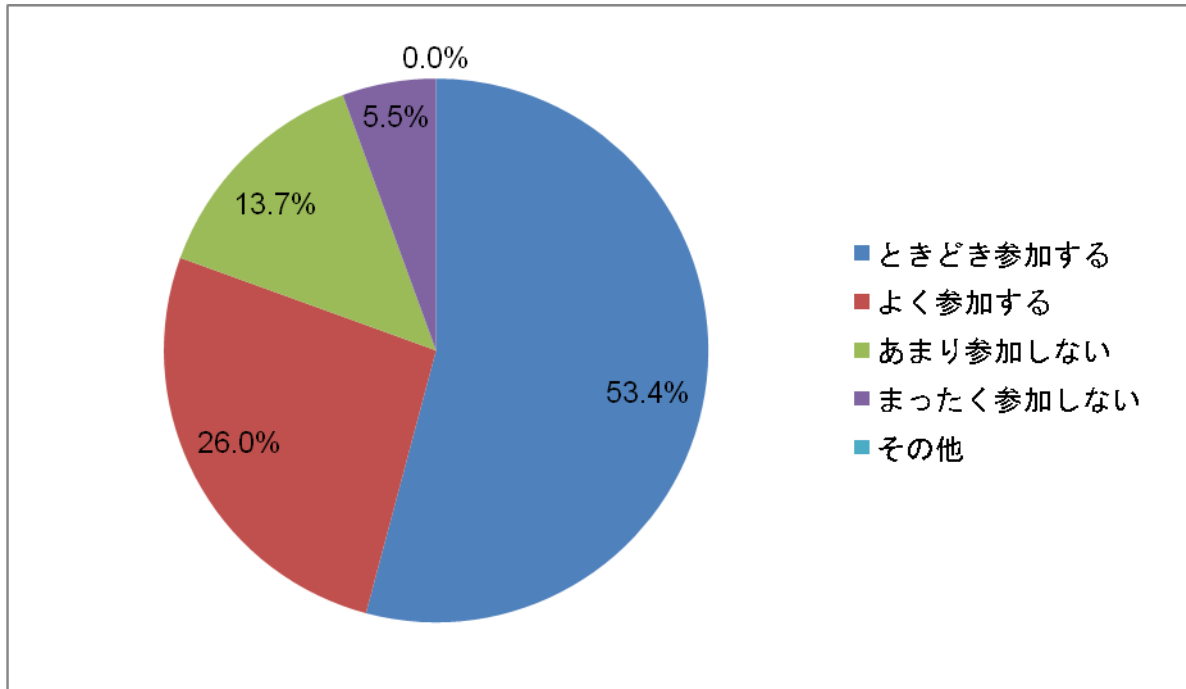
回答者数：73

選択肢	回答数
積極的に付き合っている	42
必要な時だけ付き合っている	21
あいさつだけしている	5
まったく付き合っていない	1
その他	4

「積極的に付き合っている」「必要な時だけ付き合っている」と回答した人を合わせて、8割を超えた。

Q5 あなたは地域での活動に参加したことがあるか。(全員が回答、1つまで)

「よく参加する」「ときどき参加する」を合わせて、約8割となった。



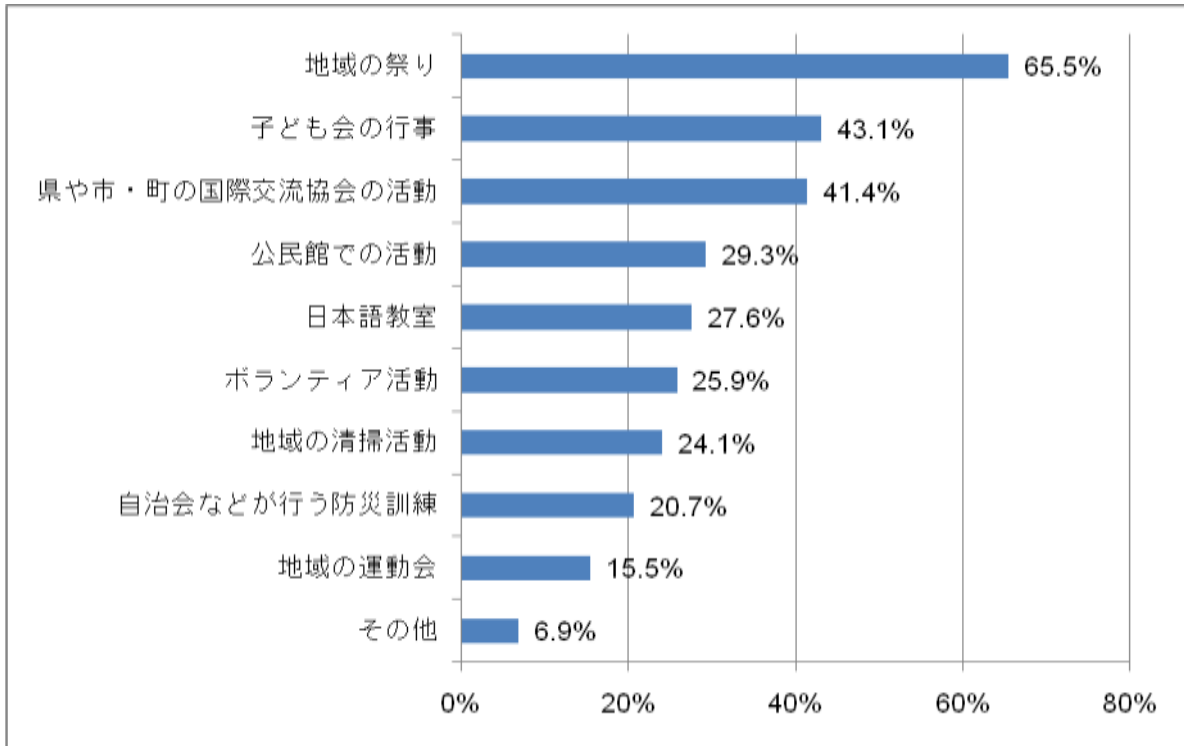
回答者数：73

選択肢	回答数
ときどき参加する	39
よく参加する	19
あまり参加しない	10
まったく参加しない	4
その他	0

地域での活動に「ときどき参加する」と答えた人が53.4%、「よく参加する」と答えた人が26.0%となり、合わせて約8割となった。

Q6 Q5で「よく参加する」「ときどき参加する」と答えた人に聞きます。どのような種類の活動に参加しましたか。(いくつでも)

「地域の祭り」に参加したという回答が一番多い。



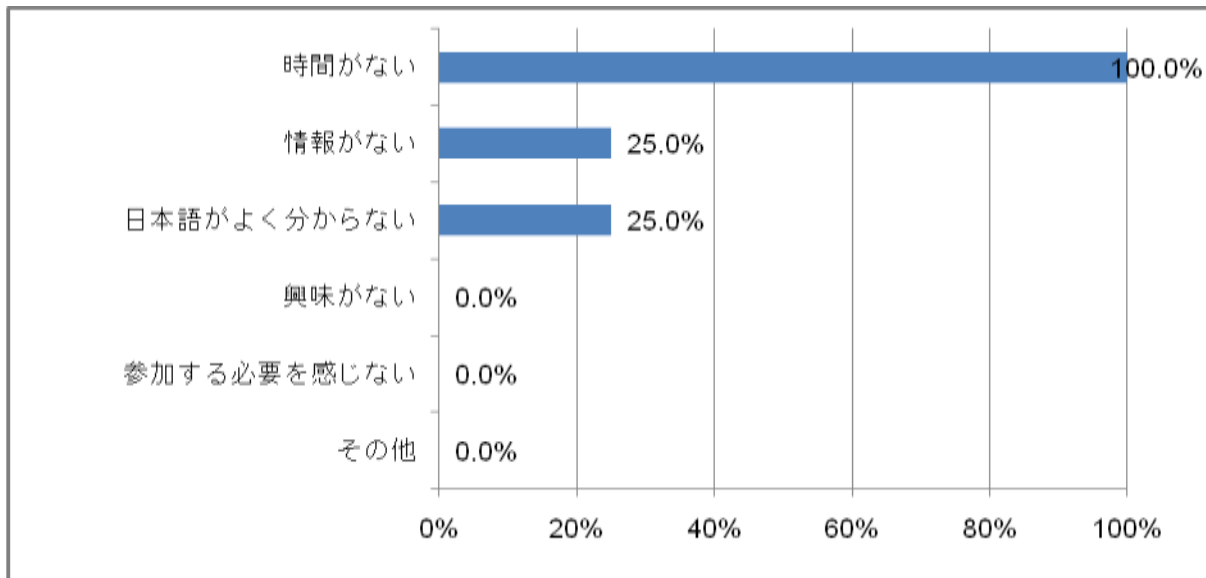
回答者数：58

選択肢	回答数
地域の祭り	38
子ども会の行事	25
県や市・町の国際交流協会の活動	24
公民館での活動	17
日本語教室	16
ボランティア活動	15
地域の清掃活動	14
自治会などが行う防災訓練	12
地域の運動会	9
その他	4

「地域の祭り」に参加したという回答が最も多く、次いで「子ども会の行事」「県や市・町の国際交流協会の活動」という回答になった。

Q7 Q5で「まったく参加しない」と答えた人に聞きます。なぜですか。(いくつかでも)

全員「時間がない」と答えた。



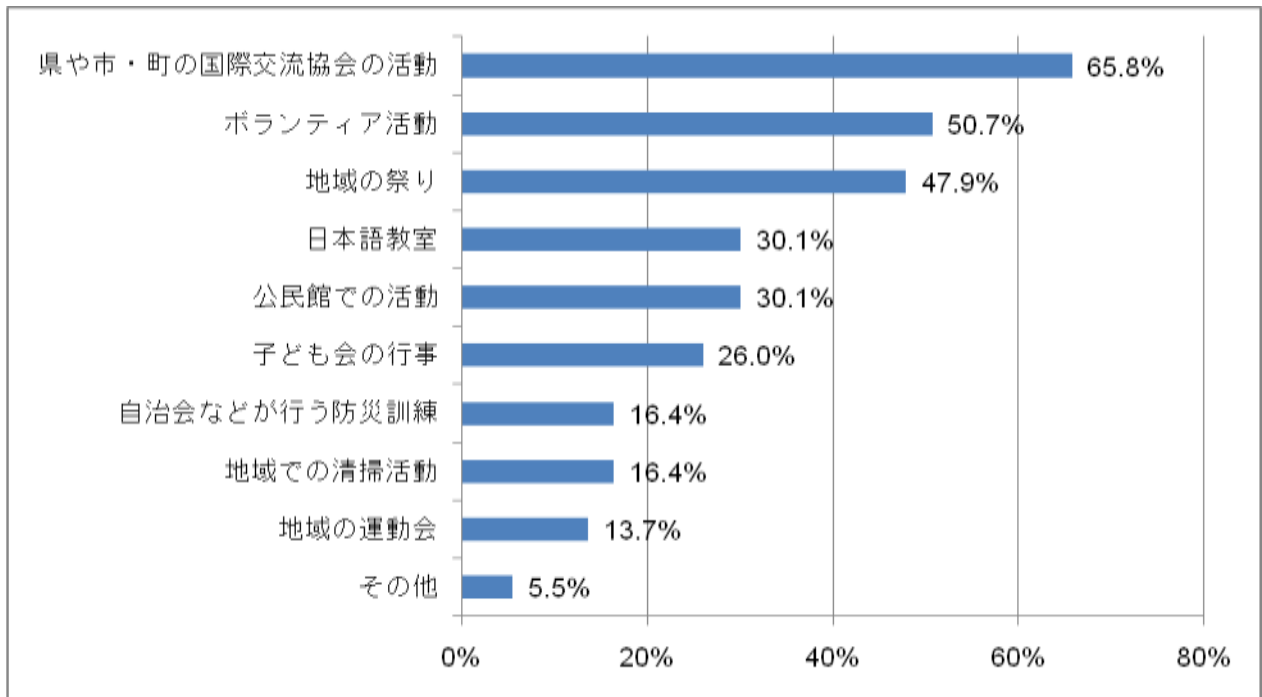
かいとうしゃすう  
回答者数：4

せんたくし 選択肢	かいとうすう 回答数
じかん 時間がない	4
じょうほう 情報がない	1
にほんご 日本語がよく分からない	1
きょうみ 興味がない	0
さんか ひつよう かん 参加する必要を感じない	0
た その他	0

ちいき かつどう  
地域の活動にまったく参加しないと答えた人のうち、全員が「時間がない」から参加しないと答えた。「興味がない」「参加する必要を感じない」を答えた人はいなかった。

Q8 これから参加するとすればどのような活動に参加したいですか。(全員が回答、いくつでも)

「県や市・町の国際交流協会の活動」に参加したいという回答が一番多い。



回答者数 : 73

選択肢	回答数
県や市・町の国際交流協会の活動	48
ボランティア活動	37
地域の祭り	35
日本語教室	22
公民館での活動	22
子ども会の行事	19
自治会などが行う防災訓練	12
地域での清掃活動	12
地域の運動会	10
その他	4

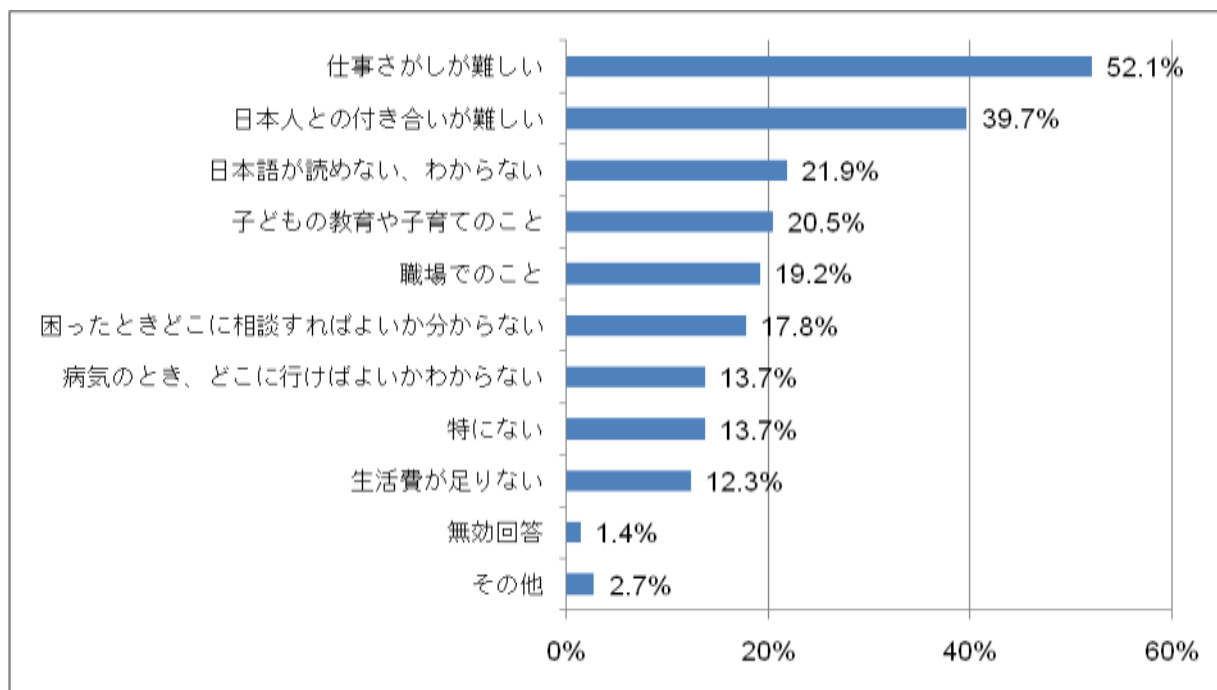
「県や市・町の国際交流協会の活動」に参加したいという回答が最も多く、次いで「ボランティア活動」「地域の祭り」の回答が多かった。



＜多文化共生（2）外国人のニーズについて＞

Q9 あなたやあなたの周りの外国人が困っていることは何か。（全員が回答、3つまで）

仕事さがしが難しいという回答が一番多い。



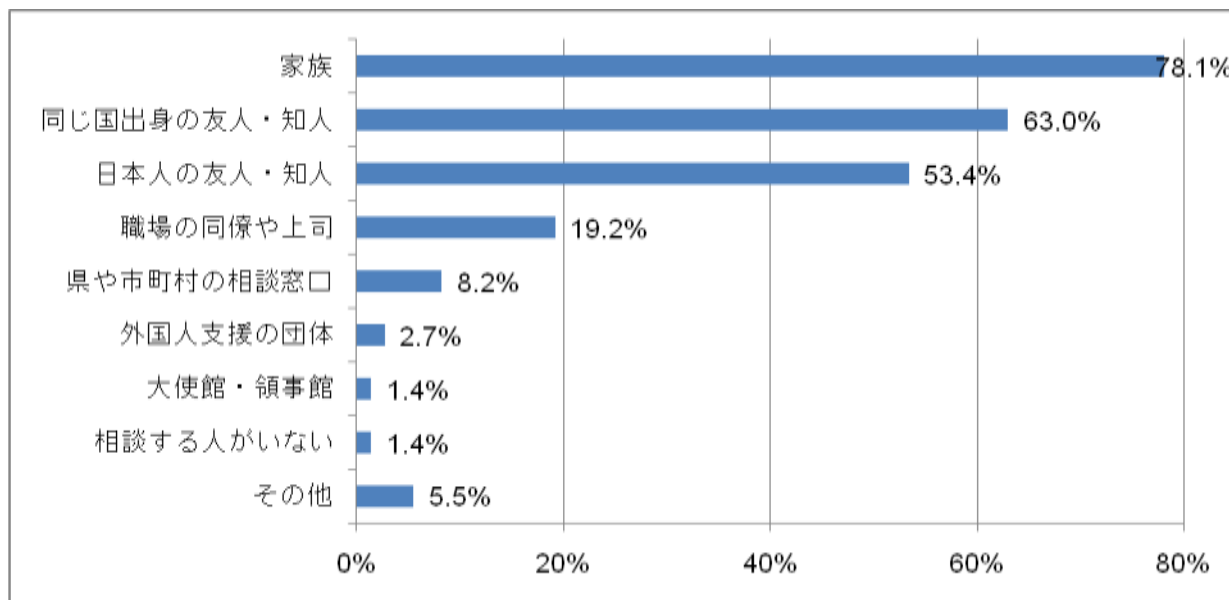
回答者数：73

選択肢	回答数
仕事さがしが難しい	38
日本人との付き合いが難しい	29
日本語が読めない、わからない	16
子どもの教育や子育てのこと	15
職場でのこと	14
困ったとき、どこに相談すればよいか分からない	13
病気の時、どこに行けばよいか分からない	10
特にない	10
生活費が足りない	9
無効回答	1
その他	2

「仕事さがしが難しい」と答えた人が一番多く、次いで「日本人との付き合いが難しい」「日本語が読めない、わからない」という回答が多かった。

Q10 あなたは困った時に誰に相談しますか。(全員が回答、3つまで)

家族に相談するという回答が最も多い。



回答者数：73

選択肢	回答数
家族	57
同じ国出身の友人・知人	46
日本人の友人・知人	39
職場の同僚や上司	14
県や市町村の相談窓口	6
外国人支援の団体	2
大使館・領事館	1
相談する人がいない	1
その他	4

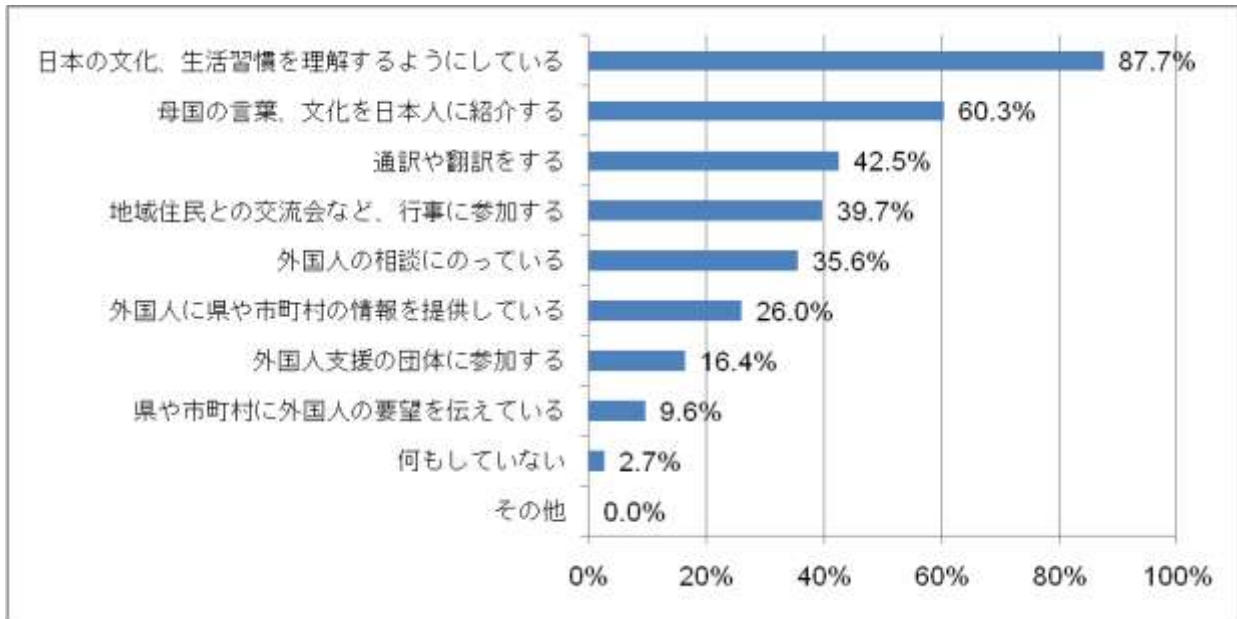
困った時に「家族」に相談するという回答が78.1%で一番多かった。次いで「同じ国出身の友人・知人」「日本人の友人・知人」という回答になった。

<その他の回答>

- 外国人の友人・知人
- お巡りさん

Q11 「多文化共生」とは「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化の違いを尊重しながら、地域社会の一員としてともに生きていくことによって、その社会全体をより豊かにしていこうという考え方」です。  
 「多文化共生社会」づくりのために、あなたがしていることは何ですか。(いくつでも)

「日本の文化、生活習慣を理解するようにしている」という回答が最も多い。



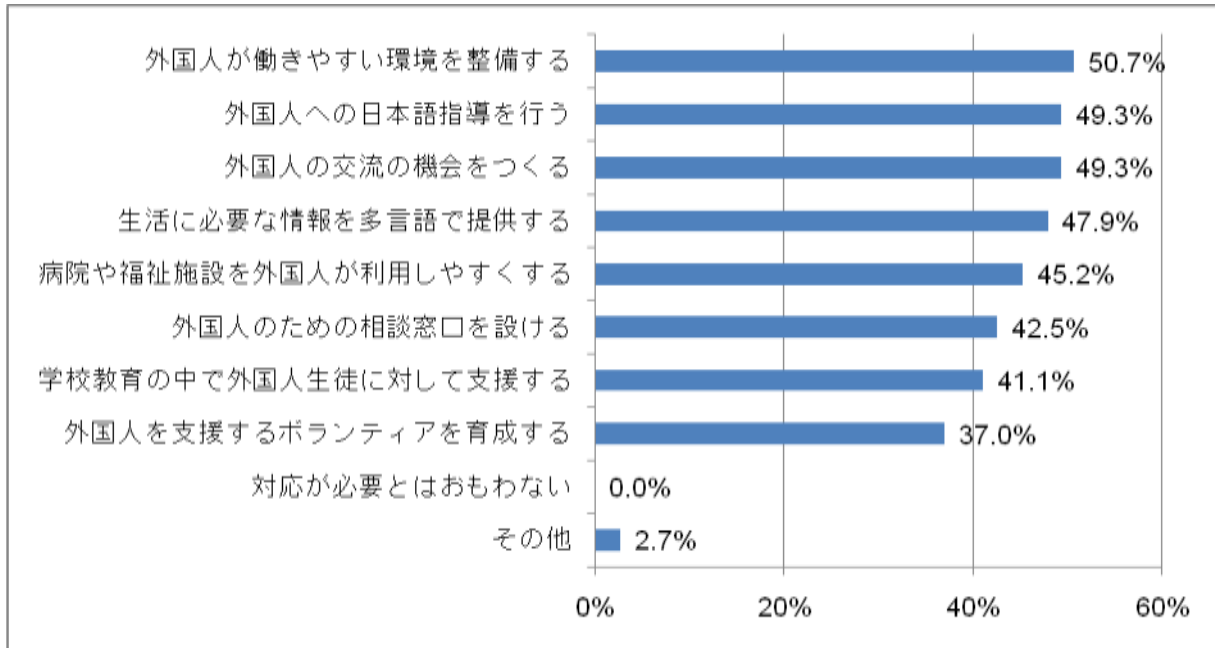
回答者数：73

選択肢	回答数
日本の文化、生活習慣を理解するようにしている	64
母国の言葉、文化を日本人に紹介する	44
通訳や翻訳をする	31
地域住民との交流会など、行事に参加する	29
外国人の相談にのっている	26
外国人に県や市町村の情報を提供している	19
外国人支援の団体に参加する	12
県や市町村に外国人の要望を伝えている	7
何もしていない	2
その他	0

「日本の文化、生活習慣を理解するようにしている」という回答が最も多く、次いで「母国の言葉、文化を日本人に紹介する」が多かった。

Q12 「多文化共生」の社会づくりのために、県や市町村がどのように対応すべきと思いますか。(いくつでも)

「外国人が働きやすい環境を整備する」という回答が最も多い。



回答者数：73

選択肢	回答数
外国人が働きやすい環境を整備する	37
外国人への日本語指導を行う	36
外国人の交流の機会をつくる	36
生活に必要な情報を多言語で提供する	35
病院や福祉施設を外国人が利用しやすくする	33
外国人のための相談窓口を設ける	31
学校教育の中で外国人生徒に対して支援する	30
外国人を支援するボランティアを育成する	27
対応が必要とは思わない	0
その他	2

「外国人が働きやすい環境を整備する」という回答が最も多く、次いで「外国人への日本語指導を行う」「外国人の交流の機会をつくる」が多かった。

<その他の回答>

- ・外国に対する理解（異文化に対する理解）を深める日本人への啓もう

Q13 「多文化共生」を進めるために、意見や提案がありましたら、書いてください。

主な意見

日本人や外国人と言うことにこだわらず、地域の住民として耳を澄ませ、心を開け、お互い交流ができる場所を作っていたきたいです。

学校や、一般社会での外国文化の紹介や、外国人が働きやすい環境を行政として、整備して行くことが必要と考えます。

図書室で外国の本を増やすこと

一般市民の意識の向上が大切だと思います。外国人を外人と区別しないで興味をもち、積極的に関わっていただきたいです。啓蒙がもっとも必要だと思います。

時々、何かテーマを作って、外国人と日本人と一緒に話し合いの機会を作っていたきたい。

外国人として日本の文化を積極的に理解しようとしているが、日本人はなかなか外国の文化を理解しようとしません。テレビや新聞、いろんなメディアで取り上げられている外国のニュース、ほとんど悪いことばかり、あるいは悪いことはより深く日本人の心に印象を残しやすい。中国の毒餃子事件やコピー・海賊版問題を見たら、中国のものを心配で買わなくなる日本人も多いでしょう！中国人として、とても悲しいです。なので、外国人のイメージを上げるためにも、外国のいいところをもっともっとメディアで取り上げてほしいです。

海外と姉妹都市を結び、個人と個人ではなく、街と街といった大きな枠組みでの取り組みでより強固になるかと思えます

入管における外国人妊婦や子連れの方に対する対応を、もう少しやさしく迅速に対応をすることがのぞましい。

1、外国人に日本語を早めに覚えさせる日本語教室を増やすことが何より一番だと思います。

2、日本人のマナーを大いに外国人に伝えていく必要があると思います。

公民館で日本人と外国人両方参加するイベントの開催 特に両方の人数が同じ様に募集する。

短い旅行も良いと思います。

おも いけん 主な意見
いろ くに えいが じょうえん 色んな国の映画などを上演する。
こ ちゅう こう がっこう がいこくじん こども ねんねん ふ けいこう おも にほん がっこう 小、中、高の学校では、外国人の子供が年々増える傾向にあると思います。が、日本の学校の ぎょうじ じゅぎょう おし かた し さんか としき としどきかん 行事、授業の教え方、PTAなどのことをあまりよく知らなくて、参加しづらい時が時々感じます。もつ と教育現場の方が、外国人の子供と保護者に学校のことを理解するようなことをしていただきた い。(私自身は困ってないけど、周りの外国人のことを見て、切実な思いが伝わってきます。)
がいこくじん ぎやく たぶん かきょうせい しゃかい にほんじん こうりゅうかいとう せっきよくてき さんか 外国人もそうですが、逆に「多文化共生」の社会づくりには、日本人も交流会等を積極的に参加し てもらおう呼びかける工夫も必要かと思われる。
み まわ がいこくじん とも ばす ぼう と びざ がもうすぐ切れるのに就職先が見つからず困って ました。特に外国人は日本人より就職が難しく特にビザの更新の時焦るようです。この場合、もし よい提議がありましたら紹介してほしいです。
たぶん かきょうせい たがい ぶんか りかい だいじ こうりゅう ば 多文化共生のためには、互いの文化を理解しあうことが、大事であり、したがって、交流の場をたく さん設け、その集まりが、続けられるように、プロセスなどが、うまく作られていることが望ましい。
にほんじん がいこくじん りょうり だいす いっしょ かつこく りょうり ししょくかい つく おも 日本人も外国人も料理が大好きなので、一緒に各国の料理の試食会を作ったほうがいいと思いま す。その場で、お互いにグルメによって、自分の国のことを紹介して、理解を深くします。
きらく つ あ 気楽につき合います。
えいご つう ぼしよ おお にほんじん がいこくじん う い ころも たぶん かきょうせい 英語すら通じない場所が多すぎる。日本人が外国人を受け入れる心を持たないと多文化共生は むずか 難しい。
ちいき まつ どう ぎょうじ がいこくじん せっきよくてき さんか かたち し 地域の祭り等の行事に外国人にも積極的に参加できるように、なんだかの形で知らせてほしいで す。意外と地域の行事を知らないで暮らしている外国人の方がおります。
さいたまけん す がいこくじん ひとひと くに ぶんか しょうかい ぼ つく ぼこ も 埼玉県に住む外国人の人々の国の文化を紹介できる場を作っていただけでもっと誇りを持って どうどう せいかつ おも じしん も い あか ぶらすしこう い じ にほん 堂々と生活できると思いますし、自信を持って生きることであらゆるプラス思考を維持しながら日本の ぶんか う い る せっきよくてき おも くに ゆうめい 文化を受け入れることにももっと積極的になると思います。たとえば、それぞれの国の有名な えん た あて い な あ しょうたい こうえん おこな えいがじょうえい エンターテイナーを招待して公演を行ったり、映画上映をしたり。。などなど
へ や か としき にほんじん ほしょうにん おも みせ ひら ばあいかんたん 部屋を借りる時、日本人の保証人がいらなかったらよいと思います。また店を開きたい場合簡単に すれば助かります。



おも いけん  
主な意見

しちょうそん れ べる まま ば れ え りょうりきょうしつ がいこくじん さんか ふんいき たぶんか  
市町村レベルのママさんバレーや料理教室に外国人が参加しやすい雰囲気をつくれたら多文化  
きょうせい そくしん おも にほんご りかい がいこくじん どうきょう がいこくじん こうどう とも  
共生の促進につながると思う。日本語が理解できない外国人は同郷の外国人と行動を共にする  
きかい おお にほん くに たい しや いちじる せま にほんじん こうりゅう きかい もう こと  
機会が多く、日本という国に対する視野が著しく狭い。日本人と交流する機会を設ける事によつ  
て、日本に対する見方がプラスになると思う。工場など所謂3Kと呼ばれる現場で就労する  
がいこくじん おお ひ びる ぼつと はたら ね が て い ぶ し こう  
外国人が多く、日々ロボットのように働いているためか、ネガティブ指向になりがち。そんな外国人  
が料理教室の先生等を務められる機会を設けられれば、自信もつく。

にほんごきょうしつが い ふつう にほんかてい こうりゅう りそう  
日本語教室以外、普通の日本家庭との交流ができれば理想です。

たぶんかきょうせい がいこくじん ぼらんてい あ いくせい  
多文化共生のため外国人ボランティアを育成する。

にほんじん がいこくじん たい ぶんか しゅうかん し ぶぶん おお がいこくじん にほんご  
日本人は外国人に対して、文化や習慣など知らない部分が多すぎるので、外国人たちに日本語と  
にほん しゅうかん おし どうじ たぶんか けい い りかい ひつよう おも にほん しゃかい た  
日本の習慣を教えてくれると同時に他文化の敬意と理解が必要だと思ひます。日本の社会また他  
みんぞく きょうせいいしき ひく がいこくじん う しゃかい つく たぶんかきょうせい ぜんてい  
民族と共生意識が低いので、外国人を受けやすい社会を作ること、多文化共生の前提とし  
て挙げたらいいと思ひます。

にほんじん ひと ひろ かんが かた も へんけん も  
日本人の人にもっと広い考え方を持ってほしい。偏見を持つのもやめてほしい。

けん し せいさく がいこくじん せつきよくてき さんか  
県や市の政策に外国人も積極的に参加してほしいです。

がいこくじん さんせい けん しちょうそん ていきてき たぶんかきょうせい て えま かいぎ おこな がいこくじん  
外国人が参政するとか、県や市町村で定期的に、多文化共生のテーマの会議を行うとか、外国人  
りじ ぼじしょん もう  
理事のポジションを設けるとか。

ちいき かつどう さんか い じょうほう おも  
地域の活動がいつあるかわからないので、参加したくても行けない。もっと情報がほしいと思ひま  
す。